

今さら人に聞けないこと

フリーライター・畑田家住宅活用保存会正会員 日馬 恭代(くさま やすよ)

今さら人には聞けないこと、そんなことは誰にでもある。別にそれが悪いわけでもないのだが、案外なかなか人に打ち明けられず、モヤモヤしていたなんて経験があるのではないだろうか？ …と、言うのは一昔前の話。今は「ググる」という簡単な手段があるので悩む前に解決してしまう。

「ググる」？ 知らない人のために少し解説しておこう。あらゆることを検索できるインターネットサービスの「グーグル」。この「グーグル」を使って「調べる」という言葉を簡略化して「ググる」というのだ。

私も人生半世紀を過ぎ、そろそろ頭が古くなってきたのか？ 若い世代の人たちが話す言葉がわからなくなってきた。もはや異国の言葉にすら聴こえる時もある。「ググる」に始まり、省略言葉は山ほどある。若者はそんなに喋るのが面倒なのか？ いや、簡単に効率よく話しているのかもしれないが…。

数年前、小学生の不登校ユーチューバー・少年革命家「ゆたぼん」(2008年生まれ)が放った言葉に世間の人々は驚いた。

「漢字がわからなければ、ググればいい」

「計算は電卓を使う」

「学校で勉強する必要はない」

いくら便利な時代とはいえ、人と人とが関わりを持たず、文明の利器に依存するのはいかななものかと当時不安視したのを覚えている。

例えば、漢字という漢字がわからない場合、「かんじ」と検索をかけてみよう。「感じ」「幹事」「漢字」…色んな「かんじ」が出てくるが、正解を誰が教えるのか？などと様々な疑問を抱いた。

だが、「ゆたぼん」の登録者数は11万人、総再生回数3091万1326回という。多くの人々に支持されているわけだ。斬新な発想が出来る若者は言葉を減らし、コミュニケーションの機会を減らす傾向にあるようだが、それには彼ら独自の関わり方があるのかもしれない。まだ私も頭はそれほど固くない。だから、この小学生ユーチューバーを否定も肯定もしない。若い者たちの考え方にそっと耳を傾けようと思は思う。

話を最初に戻そう。「今さら人に聞けないこと」はなくなった現代、今となってはちっぽけな悩みを抱えていた頃が懐かしい。

両親や親しい友人にドキドキしながら「今さら」の話を持ち出し、頬を赤らめながらその答えを聞いた。その初々しい心だけは今の若者にも持って欲しと願う。「ググる」ことは実に便利で効率の良い方法だが、ドキドキしながら聞くのは、ワクワクさが半端ない。勇気を出して聞いて、覚えて、忘れない。これも実に効率の良い暗記方法だと思えてならない。やはり私はこれからも「ググる」より「ドキドキしながら人に聞く」ことを優先する。

ちなみに、【10代女子が選ぶ流行の略語ベスト10】を紹介しよう。

- ① り … 了解の略。最初は「りよ」と略され、さらに短くなって「り」になった。
- ② パリピ … パーリーピーポー (Party People) →パーティ好きの人 → 騒いで迷惑をかける輩の称。
- ③ タピる … タピオカドリンクを飲む
- ④ とりま … とりあえずまあ
- ⑤ あね … あーなるほどね
- ⑥ それな … そうだよな
- ⑦ フロリダ … 風呂に入るので会話から離脱する
- ⑧ おけまる … OK
- ⑨ おつ … おつかれさま
- ⑩ 草 … ネット上で笑いを「W」「WWW」と表現。見た目がまるで草が生えているようなので→「笑い=草」となった。

さて、知っている言葉はいくつあったらうか？